

地盤耐震性を検討へ

三島市議会
一般質問 駅前再開発の予定説明

三島市議会9月定例会は24日、一般質問を行い、市は三島駅南口東街区に高層マンションや広域健康医療拠点

性の検討を行うとした。このほか、同日は堀江和雄（公明）、石井真人（改革みしま）、岡田美喜子（新未来21）の3氏も登壇した。

令和3年(2021年)9月25日(土曜日)

を建設する再開発事業について、地盤となる溶岩層の強度が建物からの圧力を上回る地下水対策検討委員会の調査結果を示し、今後は実施設計や構造計算を踏まえて耐震性の検討に入る予定を説明した。杉沢正人氏（無所属）への答弁。

7月に開催された同委員会では、高層棟の重さが地面を押し圧力に比べて地盤の強度が20倍以上の調査結果により、地中深くに建物のくいを打たず、地下水への影響を回避して建設する「直接基礎」の妥当性が示された。一方、市は「20倍」という数値の比率を安全性の根拠とせず

責争

戸取

乗汗

肩取